

## 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

<b>団 体 名</b>	塩谷桃内まちづくり推進委員会			
<b>事 業 名</b>	塩谷桃内まちづくり講演会			
<b>実施期間</b>	令和5年10月29日(日)			
<b>事業の目的及び期待する効果</b>	<p>人口減少や高齢化が進む本市にあって、特に、塩谷桃内地域は高齢化等が加速化しているため、海や山などの自然環境、風土に根づく歴史・文化遺産を守っていくことが極めて難しい状況である。</p> <p>このような中、地域の歴史・文化遺産の価値を掘り起こし、地域振興に結び付けようと令和2年に「第1回塩谷桃内まちづくり講演会」を開催した。(その後、令和3年、4年と開催している。)</p> <p>地域おこしの流れが点から線に繋がりはじめたことから令和5年度においても、同講演会を開催し、市内外に地域の遺産の価値を発信するとともに、郷土の良さを地域住民更には次世代の子供たちにも伝え、郷土への愛着や誇りにも繋げていきたい。</p>			
<b>実 施 額</b>	事業費	131,561円	助成額	125,889円

## 事業内容

### ●講演1 「オタモイ地蔵尊～その歴史と今後の継承～」

(講師:小樽商科大学 客員研究員 高野 宏康)

・そもそも「地蔵とは?・オタモイ地蔵尊の現在(HBCTV特集「断崖絶壁に残る霊場は・・・小樽・オタモイの秘境」・オタモイ地蔵尊例祭・オタモイ地蔵尊の誕生・オタモイ地蔵尊とオタモイ遊園地・オタモイ地蔵尊と忍路高島七地蔵・オタモイ地蔵尊の継承

(北前船の海難死者供養のため建立された、オタモイ地蔵尊(子宝地蔵)の堂守をしていた村上氏が、本年4月に亡くなられた。毎年開催されていた例祭を、故村上氏の親戚であり、当推進委員会の事務局員でもある村上テル子氏を臨時実行委員長として組織し、6月25日に、60名の参加者の下、例祭を実施した。)

### ●講演2 「「顕誠塔」 ご存知ですか？」

(小樽顕誠会 会長 堀口 雅行)

・合祀者(郷土小樽市に貢献あった方を祀る。令和5年4. 792柱、塩谷21柱・桃内4柱)・顕誠塔改修工事(寄付金総額3,635,860円、目地の補修、目地に生えた淑物の撤去、金鶏の補修)・小樽市の貴重な宝として(金色に輝く金鶏の塔を、どのようにして市民に周知していくのか・・・) (第46回全国町並みゼミ小樽大会(小樽運河100年の歴史から考える)が、10月13日から3日間開催された。小樽運河は、1923年(大正12年)12月27日に完成して100年を迎える。花園公園に建立されている「顕誠塔」も、1923年(大正12年)5月17日に完成して100年を迎えており、小樽運河と同じ歴史がある。小樽市内で一番早いお祭り「招魂祭」として、顕誠塔前、桜ヶ丘球場から公園通りまで露店などが連なっていた。)

## ◎事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
令和5年 10月29日(日)	●講演1 「オタモイ地蔵尊～その歴史と今後の継承～」 ●講演2 「「顕誠塔」ご存知ですか？」	参加人員 60人	参加人員 43人

## ◎事業評価について

### 1. 事業の目的の達成度

- ・そもそも地蔵とは？での、ご詠歌で巡拝と、市民に殆ど知られていない顕誠塔・金鶏・修復等々の話が興味深い講演であった。
- ・紙芝居「タイムスリップ塩谷村」DVD映写には、忍路郡塩谷村時代を知る人も知らない人も見入っていた。
- ・質疑応答時に、参加された第46回全国町並みゼミ小樽大会実行委員長中 一夫氏、民衆史研究家石川 圭子氏(札幌在住)から、特に当推進委員会の活動に関して、自己の経験を踏まえての貴重なお話をいただき、感激と感謝をした。
- ・これまで埋もれていた地域の資源に価値があることを、講演会の回を重ねるごとに知らされ、先人たちが築いてきた情熱と苦労に思いを馳せることができたことは、何よりの収穫。今後も、塩谷桃内地区の活性化に取り組もうとの決意を新たにした。

### 2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

- ・参加者:上記1に関連して、今まで参加した中で今回が一番面白く勉強になった。
- ・講演終了後も、講演者・発言者を囲んでの懇談が続いていた。
- ・小樽市幸在住の方から、ハガキで以下の内容が送られてきた。  
「私の父が、28年前の4月に67歳で亡くなり、すぐ5月の招魂祭で顕誠塔にまつられました。去年の4月に93歳で亡くなった母と2人でお参りに出席しました。今回、小樽顕誠会々長の堀口雅行さまのお話があるというのでとてもうれしいです。感謝。」

### 3. 今後の事業について

- ・人手不足(理事、事務局)が解消できれば、講演会開催の増、フィールドワーク、児童生徒対象の講演会やフィールドワークを実施していきたい。
- ・昨年結成された「小樽地域遺産連合会(会長は、当推進委員会会長)」の4団体で、持ち回り又は合同で、講演会又はフィールドワーク等を実施していきたい。